

こころの病と 家族・支援者の対応

講師の岩成先生は、精神科医としてこころの病をもった方々と、長年向きあってこられました。進捗著しい最新の精神医療情報も含め、家族・支援者の対応について具体的にお話していただきます。

こころの病をもった方々が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしを送ることができるための一助となれば幸いです。

日 時 : 2019年 9月28日(土)
13:30~16:00 (開場 13:00)
会 場 : 横浜市健康福祉総合センター (桜木町駅下車 徒歩3分)
4階 ホール (裏面地図をご覧ください)
定 員 : 306名
入 場 料 : 無 料、 事前申込不要

～ プログラム ～

- 第1部 演劇ワークショップ発表 「てがみ」
出 演 : ことぶき共同診療所 デイクアメンバー&スタッフ有志
みなと会 会員有志 他数名
進行役 : 花崎 攝 篠笛奏者 : 松尾 慧
- 第2部 講 演 「こころの病と家族・支援者の対応」
講 師 岩成 秀夫 先生
(横浜市総合保健医療センター長・精神科医)

主 催 : 横浜市
特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
家族会 : みなと会 (中区)、のぞみ (鶴見区)、わかば会 (神奈川区)、
もみじ会 (西区)、みなみ会 (南区)、なぎさ会 (磯子区)

協 力 : 各区福祉保健センター (中・鶴見・神奈川・西・南・磯子)
中区生活支援センター
かもめサポート (精神保健福祉ボランティアグループ)

問合せ : NPO 法人 横浜市精神障害者家族連合会 (通称 : 浜家連)
事務局 : 中居 TEL : 045-548-4816 FAX : 045-548-4836

第1部 演劇ワークショップ「てがみ」について

演劇ワークショップは、演劇作りのプロセスを、専門家でない人たちにもひらいて、参加する人たちの経験や思いを形にして伝える手法です。演劇は脚本があって、その脚本をもとに練習を重ねて舞台上で発表するものだと思われていますが、それが唯一の方法ではないのです。

演劇ワークショップでは、参加者自身がプロセスの中で、書いたり、話したり、表現したことが、結果的に上演台本になります。それぞれの人には生きてきた歴史があり、経験があります。耳を傾けてみると、淡い思い出や、かけがえのない瞬間や切実な思いなどが浮かび上がってきます。それらを表現としてすくい上げ、構成して、この世で一つだけのオリジナルな作品を作ります。

今回のテーマは「てがみ」です。改めて、だれか、あるいは何かに、思いを馳せて書いてみる手紙に、どんな記憶や思いが現れるでしょうか？

6月から月に2回、ことぶき共同診療所デイケアメンバー&スタッフ有志、みなと会有志のみなさんとワークショップを重ねて作り上げる発表作品を、ぜひ見に来てください。 花崎 攝

第2部 講師：岩成秀夫先生の略歴

昭和48年	横浜市大医学部卒業
昭和50年	横浜市大精神医学教室入局
昭和58年	神奈川県立芹香院入職
平成14年	神奈川県立精神医療センター芹香病院 院長
平成20年	神奈川県立精神医療センター 所長
平成25年	横浜市総合保健医療センター センター長

会場地図

*駐車場はありませんので、JR・市営地下鉄・バス等のご利用をお願いします。

